



2012年 1月 30日

みなさん、こんにちは。先日、ぼんやり海をながめていると、養殖イカダが浮かんでいるのに気付きました。雪がちらつく寒さのなか、明石の海ではおいしい海苔が育まれています。

● 西出草太さんによる講演会

『截金の人間国宝展 -齋田梅亭と西出大三-』の折り返しとなった22日(日)、西出大三さんの長男で東京にお住まいの西出草太さんに、父・大三さんの思い出や截金についてお話していただきました。

講演のタイトルは、「枉(ま)げられぬ!」。これは、大三さんの生きざまを表した言葉です。

大学生の時に截金と出会い、截金の技術の復興に生涯をささげた大三さん。中学時代にはGペンを加工して彫刻刀代わりに使い、犬の木彫をしあげたというほど美術好きだったそうです。

北前船の船主の家系、母は加賀藩士の娘という由緒ある家柄に生まれましたが、のちに截金の道を選び研究にいそしむ生活では、妻・三知さんは草太さんのミルク代にも困るようなありさまだったそうです。

しかし、その志を決意した時に「何かを捨てなければ」と思った大三さん。生活費をかせぐためだけに入魂の作品を手放すことはなく、初期の名作、木彫「あま」を譲ってほしいという申し出があったにもかかわらず、あっさりと断ってしまったエピソードが残されています。

一本筋の通った大三さんは、截金師のなかでも合子(ごうす)や人形などの土台の彫刻から制作する独自のやり方でその道を極めました。今回の講演は、そんな生きざまを間近で見えていたご家族から聞くことができた貴重な時間となったのではないのでしょうか。



父の思い出を語る西出草太さん

● 市内学校書初展、明石っ子造形展(美術展)のご案内 ～来館は公共交通機関で～

明石市立の学校や幼稚園に通う子どもたちの書初や造形作品を展示する『書初展』と『造形展』が、右記の日程で行われます。

こどもの作品ながら、工夫やアイデアが感じられ大人顔負けのものも見られますので、散歩がてらお立ち寄りください(2階ギャラリーにて、観覧無料)。

土・日曜日はご家族連れで訪れる方が多いので、ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いします。

▶明石市立小・中・養護学校書初展

2月9日(木)～12日(日)

【時間】9日、10日:午後2時30分～5時

11日、12日:午前9時30分～午後5時

▶明石っ子造形展

小学・養護学校/2月16日(木)～19日(日)

中学校/2月23日(木)～26日(日)

幼稚園/3月1日(木)～4日(日)

【時間】午前10時～午後5時(入場は午後4時半まで)



『截金展』は、残り1週間となりました。寒い時期ですが、ぜひこの機会にご覧ください!